

<p>1 Bruce Edwards was well known / in the golf world. // He, however, / was not a golfer, but was a caddy, / who passed away at age 49. //</p>	<p>ブルース・エドワーズはよく知られていた ゴルフ界では。 しかしながら彼は ゴルファーではなくキャディーであった 49歳でこの世を去った。</p>
<p>2 When Bruce finished high school in 1973, / he was more interested in caddying / than golfing or going to college. // One day, he met young Tom Watson, / who would become a great golfer later. // He asked Watson for a job / as a caddy, / and it was the beginning / of their long relationship. //</p>	<p>ブルースが1973年に高校を卒業したとき 彼はキャディーをすることに興味があった ゴルフをしたり大学に行ったりすることよりも。 ある日、彼は若かりしトム・ワトソンに出会った 後に偉大なゴルファーとなる。 彼はワトソンに働かせてほしいと頼んだ キャディーとして そしてこれが始まりであった。 2人の長いつきあいの</p>
<p>3 In those days, / caddies used to just carry the golf bag / for players. // Bruce was different. // He walked the course each morning / so that he could tell the players / about the course condition / and the distance to the holes from any spot. //</p>	<p>その当時 キャディーはゴルフバッグを運ぶだけというのが常だった 選手のために。 ブルースは違った。 彼は毎朝コースを歩いた 選手に伝えられるように コースの状態について そしてあらゆる場所からホールまでの距離について。</p>
<p>4 Also, / Bruce was never afraid to disagree, / and Watson accepted it. // One day /</p>	<p>さらに ブルースは反論するのを恐れなかった そしてワトソンはそれを受け入れた。 ある日</p>

<p>Watson wanted to hit a safe short shot / rather than directly go for the green. // However, / Bruce angrily insisted, / “You don’t need to. / You can hit this ball on the green / from here.” // Watson thought for a while, / and hit the ball / just to the right of the green. //</p>	<p>ワトソンは、安全な短いショットを打ちたいと思った 直接グリーンを狙うよりも。 しかし ブルースは怒って主張した 「その必要はない。 君はこのボールを打ってグリーンに乗せられる ここから」 ワトソンはしばらく考えた そしてボールを打った グリーンのちょうど右側に。</p>
--	--